

■学習項目導入方法のバリエーション

	方法	導入項目例	準備と進め方の例	アドバイス
スキット	パペットを使う	How much is it? It's 2 dollars.	店員と客の2体のパペットを用意し、場面設定をします。 場面は、例えば青果店だったら、野菜や果物の実物や絵カードを、店に並べておきましょう。	パペットは、市販のものを使っても、手作りしてもいいでしょう。 それぞれのパペットの役割分担が分かりやすいようにすることがポイントです。場合によっては、名札などを付けておいてもいいかもしれません。パペットは、このように、「買い物」など、使用場面がはっきりしている学習項目の導入に適しています。
	絵を描きながら 会話を進める	Do you like science? Yes, I do.	ホワイトボードに先生が好きな科目に関連する物を描きながら、どの教科かを推測させる（例えば理科はビーカーや虫めがね、音楽はレコーダーや音符など）。 英語での言い方を紹介したら、Do you like science?と質問をする。	何でもさっと絵にできるような先生にはおすすめの活動です。絵を描きながら同時に会話を進められるので、描き終わる前に What's this?などの質問をしながら、子どもたちの発話を促すこともできます。絵を描くことに一生懸命になり過ぎて、子どもたちに背中を向けたくない気を付けましょう。
	紙芝居	I get up at 5:00. I go to school at 7:30. What time do you get up?	一日の生活を紹介する、get up, eat breakfast, go to school, eat lunch, watch TV, eat dinner, take a bath, go to bed などの絵を描いた紙芝居を作っておく。 紙芝居を見せながら、実際の先生の一日を紹介する。	それぞれのシーンの写真を撮り、紙芝居にすることもできます。先生が登場人物の紙芝居なので、子どもたちは興味を持って話を聞いてくれます。私は世界各国の子どもたちの生活を紹介した紙芝居を使っています。
	パワポで デジタルストーリー	What's this? It's a ~.	動物の写真の一部だけをトリミングして、パワーポイントのスライドに入れます（ネコの肉球、ペンギンの足の部分など）。What's this? あるいは What animal is this?と質問しながら、動物の名前を当てさせます。答えが出たら、次のスライドで全身の写真を見せます。	What's this? の単元では、「これ何?」と本当に思えるような設定をすると言葉が生きる活動ができます。タブレットなどを使える教室では、発展活動で子どもたちに撮らせた写真を加工して、クイズに使うこともできるでしょう。